

合同関西派の分解・崩壊と我々の立場

蜂起を 単一党と 党の革命

合同関西派の崩壊は、我々の立場を再考させる重要な契機となっている。この崩壊は、単に組織的な分裂を意味するのではなく、党内の根本的な理念の衝突と、異なる政治路線の対立の表れである。我々として、この混乱の中から何を学び、どのような道筋を歩むべきか、その問いはますます切迫している。

合同関西派の崩壊の根拠は何か

合同関西派の崩壊の根拠は、その内部の構造的弱さと、外部からの圧力にある。第一、党内の指導部と一般メンバーとの間に大きな乖離が生じている。第二、政治的方針が不明確で、各派閥が独自の路線を推し進めようとしている。第三、外部からの攻撃が、この内部の弱さを悪化させている。我々は、これらの問題を徹底的に分析し、統一した道を見出す必要がある。

連合戦旗派形成の根拠

連合戦旗派の形成は、単なる妥協の産物ではなく、異なる政治勢力が共通の敵を前にして団結する必然の結果である。我々の立場として、この連合戦旗派の形成には、積極的な支持を示す必要がある。これは、我々の政治的野望を達成するための重要なステップである。

蜂起を目指す単一党 建設と党の革命

単一党の建設と党の革命は、我々の政治的野望を実現するための不可欠な手段である。単一党の建設は、党内の対立を乗り越え、統一した組織を築くことを意味する。党の革命は、党内の腐敗と権威主義を根絶し、新しい政治的価値観を確立することを意味する。我々は、これら両方を同時に進めなければならない。

権力・政治警察の 再度にわたる 不当捜査を弾劾する

権力と政治警察の不当捜査は、我々の政治的野望を脅かす重大な脅威である。我々は、この不当捜査を徹底的に弾劾し、権力と政治警察の不正行為を暴露する必要がある。これは、我々の政治的野望を実現するための重要なステップである。

蜂起・戦争派に結集する 諸派への我々の立場

蜂起・戦争派に結集する我々の立場は、単に彼らの主張を支持するだけではなく、我々の政治的野望を実現するための重要なステップである。我々は、蜂起・戦争派の主張を徹底的に分析し、我々の政治的野望と一致する部分を見出す必要がある。

労共委批判

岩田理論の清算と文献解釈 学的原則主義への乗り移り

岩田理論の清算と文献解釈は、我々の政治的野望を実現するための重要なステップである。学的原則主義への乗り移りは、我々の政治的野望を実現するための重要なステップである。我々は、岩田理論の清算と文献解釈を徹底的に行い、学的原則主義への乗り移りを進めなければならない。

定期購読の呼びかけ

定期購読の呼びかけは、我々の政治的野望を実現するための重要なステップである。我々は、定期購読者を増やし、我々の政治的野望を実現するための重要なステップである。

鉄の戦線 3号

全国書店で好評発売中 400円 (〒65円)

主要内容

はじめに

「我々の政治主張」

☆非合法的な体制の破壊と、秋闘争と先遣武装闘争の社会。

☆世界プロテクトと国際外交

☆我々の軍事戦略と軍紀

☆我々の軍事戦略と軍紀

☆非合法的な体制の破壊と、秋闘争と先遣武装闘争の社会。

☆世界プロテクトと国際外交

☆我々の軍事戦略と軍紀

☆我々の軍事戦略と軍紀

「我々の政治的到達点」

「蜂起を組織する単一党への道」 羽山太郎

「唯物史観と『資本論』」 帝國主義論 岩田必殺

「唯物的観と『資本論』」 帝國主義論 岩田必殺

「一党の非自衛的組織体制」 岩田必殺

「我が国の政治的到達点」 岩田必殺

「我が国の政治的到達点」 岩田必殺

「我が国の政治的到達点」 岩田必殺

「我が国の政治的到達点」 岩田必殺

世界暴力革命論

—現代革命の理論体系—

さらぎ徳二著 定価 800円

鉄の戦線No.1 過渡期世界論特集— 残部少数 定価 300円

鉄の戦線No.2 —共産主義と軍事特集— 好評発売中 定価 400円

『蜂起』No.14 一首都反帝戦線機関誌— 定価 100円 (〒35円)